ひらりんちゃん通信（園長室だより）③

令和７年７月16日
文京区立千駄木幼稚園
園長　　篠澤　恵理

任せられた喜び

私が、朝の預かり保育の子どもたちと一緒に朝の挨拶をする時には、皆の前に立つ係を子どもたちにお願いしています。初めのころは、一人ずつ順番にお願いしていましたが、希望者が多いので、学年ごとの順番にしました。挨拶の時には、任せられたことが嬉しい様子で、背筋を伸ばして誇らし気な表情になります。挨拶を楽しみにしていることが伝わり、子どもたちから力をもらえる楽しみな時間です。

もうすぐ1学期が終わるので、子どもたちは「ピカピカ大作戦」として、保育室の遊具等を雑巾で拭きました。年中組は、砂場の道具を洗うと、年少組の子どもたちからお礼を言われて、とても嬉しそうでした。「自分が役に立っている」という喜びとなっています。

日々の生活の中には、子どもたちのできる「手伝い」がたくさんあります。例えば、カーテンを開ける、玄関の靴を並べる、卵を割る、野菜をちぎったり切ったりする、テーブルを拭く、箸を並べる、配膳、お盆に載せて運ぶ、洗濯物をたたむなど、子どもたちにどのくらい任せているでしょうか？かえって大変になると思いがちですが、簡単なことからお願いしてみると、案外役に立つことに気付きます。「お助けレンジャー」「コックさんの日」「すっきりタイム」など、「手伝い」にわくわくする名前を付けると、遊びのように楽しめます。初めは、思うようにできなくても、「助かるね」「ありがとう」と伝えると、次第に自信がもてて次につながります。頭や手先を使いながら考える力が育つことも期待できます。「そっちは頼むね」と任されると、やる気満々になり、大事な家族の一員としての役割を感じて過ごせるのではないでしょうか。この夏、様々な体験ができますように。

夏の思い出

我が家では、息子たちが幼い頃、毎日の生活を面白がろうと考え、「サンドイッチパーティー」「おにぎりパーティー」など、食材を並べて、自分で作りながら食べるだけですが、「パーティー」と名付けていました。「餃子」「ハンバーグ」「サラダ」「手巻き寿司」など、子どもと一緒に食事を作る時も「パーティー」ということにしたので、「うちは、パーティーが多くてお金持ちだね」と喜ばれたことは、楽しい思い出です。

幼い頃の写真やビデオを一緒に見たり、思い出を伝えたりする日をつくるなど、成長をしみじみ味わうこともおすすめです。いつもしていることでも、お子さんと一緒にカレンダーに書き込み、指折り数えて楽しみにできるとよいですね。

レッツ　エンジョイ　夏祭り！！

18日は、「夏祭り」です。千幼会の企画担当の皆様をはじめ、これまでご協力いただいた皆様、子どもたちのために心のこもったご準備をありがとうございます！大人も童心にかえって、わくわくと心を躍らせながら楽しみましょう。

当日は、年長組親子がお店の人になって、お客さんとやり取りをします。子どもたちが、お店の人になりきって動けるように、支えていただければ嬉しいです。

盆踊りは、子どもたちの大好きな「もったいないばあさん音頭」と、本園の歴代園長先生が、創立40周年の記念に作詞作曲された「千駄木なかよし音頭」の2曲を踊ります。「千駄木なかよし音頭」は、今年度、地域の協力者に音源をリメイクしてしていただきました。50年目の千駄木幼稚園の夏祭り！皆さんで楽しい時間を過ごしましょう。